

ダムだより

No.64



2020.1.10

国土交通省
四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所
TEL 0893-34-3000
FAX 0893-34-3358



表紙写真【肱川ふれあいまつり トンネル点検車のデッキ上に】

「ダムだより64号」目次

- 表紙写真【肱川ふれあいまつり トンネル点検車のデッキ上に】／目次 ……P 1
- 事務所長より新年のご挨拶……………P 2
- 山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定……………P 3
- 「第34回肱川ふれあいまつり」が開催されました ……P 4
- 岩谷地域自治会秋季クローカー大会に参加しました……………P 5
- 鹿野川ダムからのお知らせ……………P 6

山鳥坂ダム職員によるブログをホームページで公開しています。
地域の情報などを発信していますのでぜひ一度ご覧ください。

山鳥坂ブログ

検索



●●●●●●●●●● 事務所長より新年のご挨拶 ●●●●●●●●●●

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年を振り返ってみますと、幸い肱川流域において大きな水害はありませんでしたが、全国的には台風等により各地で被害が発生しました。特に、10月に来襲した台風19号では、静岡県や関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、10月25日からの大雨による被害を含めると、死者・行方不明者101名(12月2日時点)に及ぶ甚大な被害が発生しました。被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。近年では、気候変動の影響等により、台風の強大化や集中豪雨発生回数の増加など、雨の降り方が従前に比べて極端になる傾向にあり、それに備えた対策が必要とされているところです。



山鳥坂ダム工事事務所長

麓 博史

(ふもと ひろし)

肱川流域では、一昨年の平成30年7月豪雨により、甚大な被害が発生しました。このような災害が起こることがないように、国土交通省では肱川緊急治水対策に取り組んでいるところであり、当事務所では山鳥坂ダム建設事業を着実に進めるとともに、鹿野川ダムの管理を適切に行っている所存です。

山鳥坂ダム建設につきましては、生活再建、地域振興を最優先として、付替道路やその工事のために必要な工事用道路の工事、地質調査などを進めているところです。今年は現在工事実施中の見の越トンネルに加え、下敷水トンネルの工事に新たに着手する予定です。地権者の方々を始め、周辺地域のみならず多大なご苦勞・ご協力をいただいているおかげで進められており、心より感謝申し上げます。工事などの実施にあたりましては、建設機械の騒音や工事用車両の往来などによりご迷惑をかけして申し訳ございませんが、関係者一同、最大限の注意を払って進めてまいりますので、引き続きご協力いただけますようよろしくお願い致します。

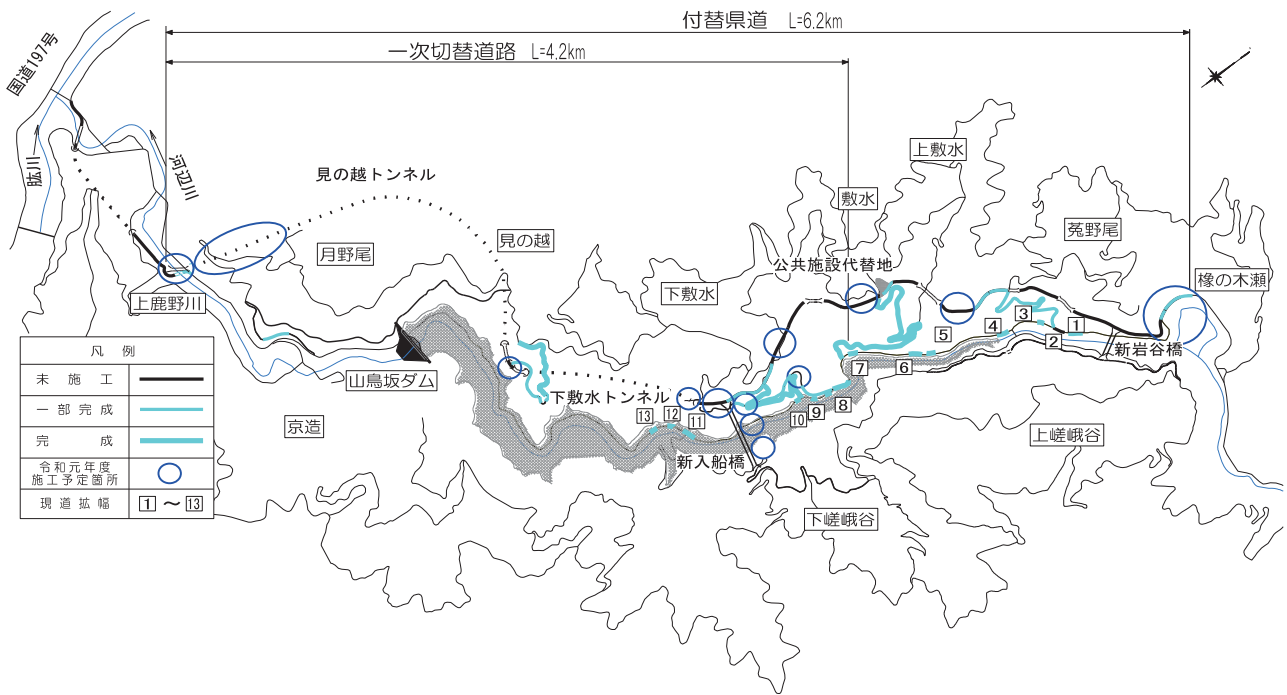
鹿野川ダムの管理については、昨年6月に鹿野川ダム改造事業が完成し、従来の1.4倍の治水容量を確保したところです。引き続き適切に管理を実施するとともに、皆様にわかりやすい洪水時の情報提供に取り組んでまいります。

最後になりますが、地域が良くなってきていると一人でも多くの方に実感していただけることを目標に、職員一同精一杯努力してまいりますことをお誓い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

山鳥坂ダム建設事業の進捗状況及び工事の予定

現在、上鹿野川地区、下敷水地区、菟野尾地区、椽の木瀬地区において、県道（主要地方道小田河辺大洲線）の付替工事や工事用道路工事、現県道の拡幅工事を進めています。今年度は下記平面図の○印の箇所において工事を行う予定です。

工事の実施にあたり、土砂を運搬するダンプトラック等の通行が多くなっており、近隣にお住まいの皆様、道路を通行される皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ありません。地元車両の通行の優先や昼間のライト点灯を徹底するなど、地域の皆様の生活への支障が生じないように努めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



工事実施状況

付替県道の
新設工事
(仮橋架設等)
<上鹿野川地区>



平成 28 年 11 月時点



令和元年 11 月時点

工事用道路の
新設工事
<下敷水地区>



平成 28 年 8 月時点



令和元年 11 月時点

「第34回 肱川ふれあいまつり」が開催されました

昨年11月17日（日）、当事務所近くの肱川風の博物館と風のり広場において、34回目となる「肱川ふれあいまつり」が開催されました。当日の朝は冷え込みましたが、好天にも恵まれ、たくさんの方が来場されました。

会場には、地元の団体などによる多くの出店があり、ステージショーなどの催しものも行われ大変盛り上がっていました。

当事務所も参加させていただき、出店した催しの様子を紹介させていただきます。

○風の博物館駐車場では、昨年10月の台風により浸水被害を受けた関東・東北地方へ、災害復旧のために出動した排水ポンプ車の展示や、平成29年に展示して大人気となったトンネル点検車を展示し乗車体験を行いました。

中でも、トンネル点検車は乗車体験が出来るとあって、お子様を中心に約200名のみなさまに体験していただき、ふれあいまつり会場をトンネル点検車のデッキ上から展望するなど、いつもと違ったお祭りの雰囲気味わえたのではないのでしょうか。



パネル展示の様子



トンネル点検車の乗車体験の様子



排水ポンプ車の展示

また、となりのキッズコーナーでは、約300名のお子様がおもちゃのバックホウを操作して「お菓子すくい」などを楽しみました。熟練した操縦士も顔負けの腕前を披露したお子様もいたようで、とても盛り上がりました。



キッズコーナーの様子





ダム操作室内の見学の様子



ダム堤体内の見学の様子

○「鹿野川ダム」見学会では、ダム操作室内の見学や堤体内の見学など、家族連れで約30名のみなさまに見ていただきました。また、見学会終了後に見学した方だけにお配りしているダムカードのプレゼントもあり、大変喜ばれておりました。

今後も、このようなイベントを通じて、当事務所の役割や事業などを地域のみなさまにお伝えしていきたいと思えます。

岩谷地域自治会秋季クローケー大会に参加しました

毎年恒例の「岩谷地域自治会秋季クローケー大会」が昨年11月24日（日）に開催されました。数日前からの天気予報から、当日の開催が危ぶまれておりましたが、みなさまの開催にかける熱意が伝わり、競技終盤に小雨がぱらつく程度であり無事競技を終えることができました。

今回は地元の岩谷地区のチームに加え中央地区の2チームを招待して、合計15チームでにぎやかに開催されました。

クローケーは、チームで連携してチームメイトの玉を前に進めたり、相手の玉を遠くに飛ばしたりする競技で、個々のプレーよりも戦略が重要視されます。

大会は、1試合15分間を4試合する中で好プレー、珍プレーありで大変盛り上がりました。中には、両チーム全員が最初のゲートを通り出来ない場面もあり、笑い声も絶えませんでした。

当事務所から4チームが参加し、熟練の技を持つ地元の方々のチームの方々には歯が立たず完敗という結果ではありましたが、地元の方々とクローケーを通じて楽しく交流ができました。



鹿野川ダムからのお知らせ

国土交通省山鳥坂ダム工事事務所では、住民の皆様の適切な避難行動に繋げていただくため、**鹿野川ダムの放流に関する情報提供方法の拡充**として、**Twitter**（ツイッター）を活用した放流情報の発信を、昨年7月から開始しました。

以下のアドレス等の情報から、登録（フォロー）等をお願いします。

【Twitter（ツイッター）アドレス等の情報】

《山鳥坂ダム工事事務所ツイッター》

アドレス : https://twitter.com/mlit_yamatosaka

アカウント名 : 国土交通省 山鳥坂ダム工事事務所

ユーザ名 : @mlit_yamatosaka

また、山鳥坂ダム公式ホームページでも、ツイッターを確認できます。

HP アドレス : <http://www.skr.mlit.go.jp/yamatosaka/>

【コード】



【Twitter（ツイッター）による『鹿野川ダム』の放流情報の発信例】

【鹿野川ダム洪水貯留開始の情報】

段階 2 : (警戒) 洪水貯留を開始

※下流域は氾濫の危険性有り、自治体の情報に注意

流入量が 600m³/s を上回ったため、〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分に洪水貯留を開始

現在、ダムの治水容量貯水率は約〇〇%

今後、現在の流下量を継続し、流下量を上回る流入量を貯留

鹿野川ダム

【鹿野川ダムからの流下量増加の通知】

段階 3 : (危険) 流下量を増加

※下流河川の急激な水位上昇に注意

※下流域は氾濫の危険性有り、自治体の情報に注意

〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分から防災操作を実施中

〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分に流下量を〇〇〇 m³/s から〇〇〇 m³/s に増加予定

鹿野川ダム

※ Twitter（ツイッター）は、140文字以内の文字制限があります。

※上記は、鹿野川ダムにおける放流情報の発信例の一部です。

※今後、情報提供を実施しつつ、提供内容について見直しを行うことがあります。